

【担当課：副首都推進局】

議 題	大阪の副首都化について
日 時	平成 29 年 4 月 6 日(木) 10 時 30 分～12 時 30 分
場 所	国立民族学博物館
出 席 者	(特別顧問・特別参与) 出口特別参与 (職員等) 副首都推進局企画担当課長代理 大阪府政策企画部企画室計画課参事、同課長補佐
論 点	民都(フィランソロピーの促進、非営利セクターの活性化)の今後の取組み方向について
主 な 意 見	<p>民都は分都や重都とも密接につながる領域で副首都構想全体の中の視点を常に持つべき。</p> <p>○第2の動脈を大阪に、という構想の実現に向けて、非営利セクター全体での35兆円という支出規模の大きさを念頭に、法人類型の垣根を越えたフィランソロピー会議を作る。</p> <p>世界の動きと同規模の「コレクティブ・インパクト」としてのうねりを作り出す必要がある。</p> <p>フィランソロピー会議はそうした夢のある議論・提案ができる場で、その提案等に対して参画メンバーからのアクションで具体化につなげることを目指す場。そのためにも、様々なセクターが参画するこれまでに無かった会議にすべき。</p> <p>コーポレート・ヘッドクォーター・コンプレックスという視点で、各業界・分野のトップの団体、ヘッドクォーターを大阪に持ってきたり、新たに創出したりすることで、その複合体(弁護士や会計士、翻訳者、通訳者、芸術家、関係企業などの関連団体)も大阪に持ってくる事ができる。</p>
結 論	ご意見を踏まえ、引き続き検討を進める。
資 料	(仮称)大阪フィランソロピー会議の検討(議論用ペーパー)
関係所属	